

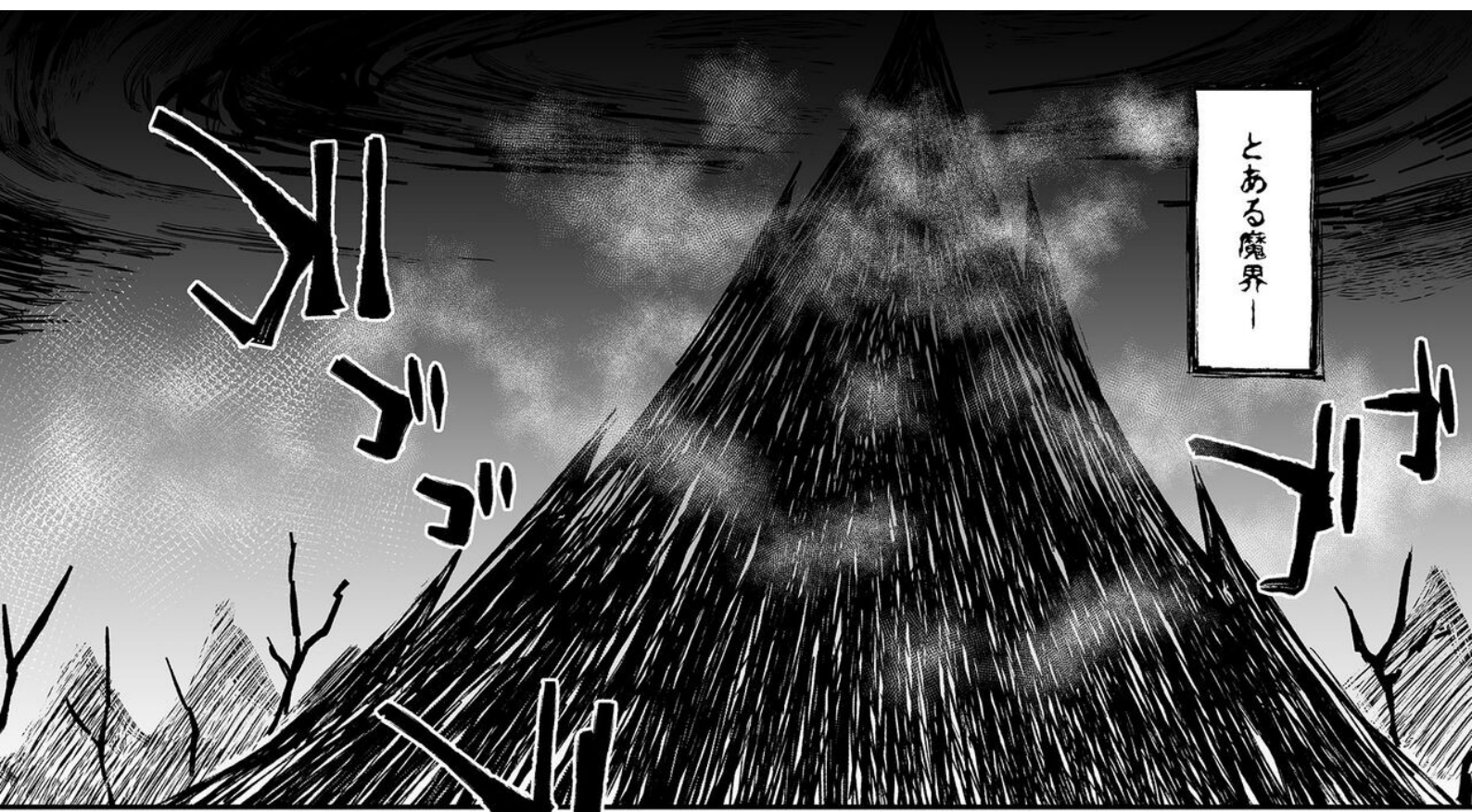
R18

魔王の
勇者に
オシが

わけがねえっ!
やられる



とある魔界—



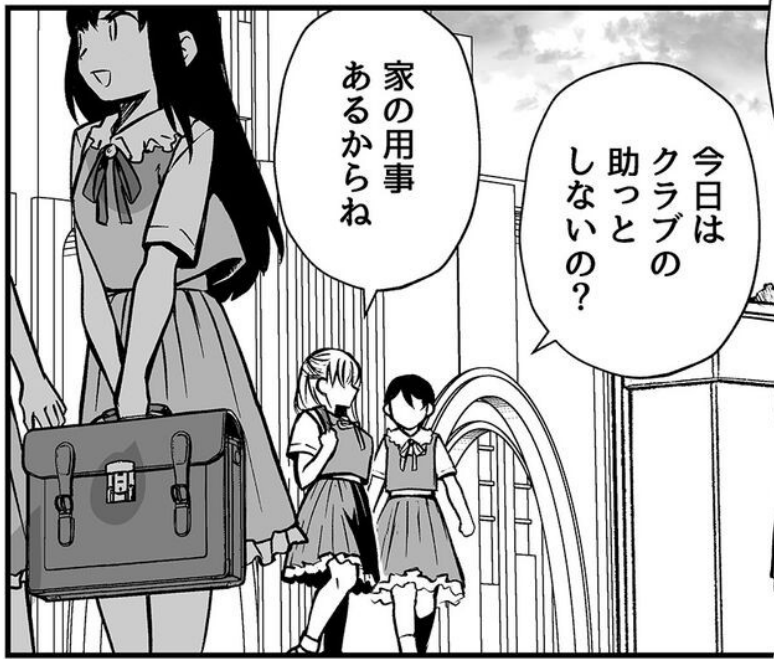
我が息子よ

はっ



次期
魔王の証として

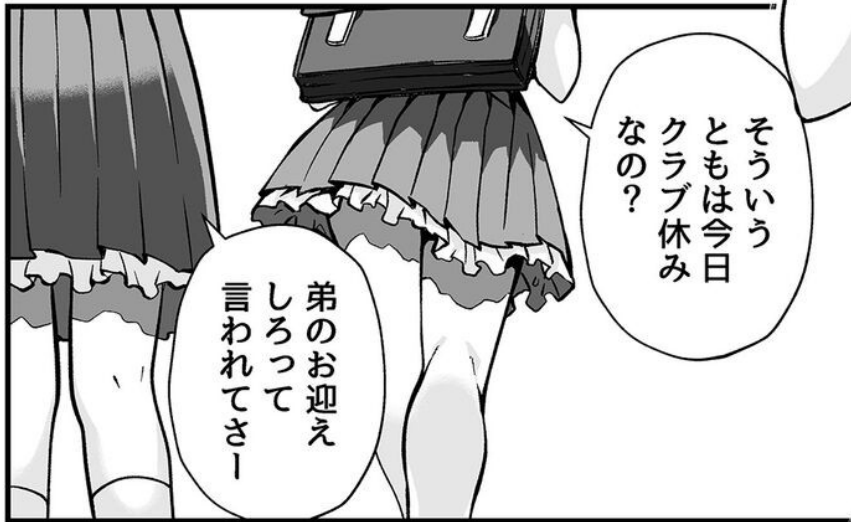
必ずや
勇者の首を
この王座に
奉げます



家の用事
あるからね

今日は
クラブの
助っつと
しないの？

ゆう香



そういう
ともは今日
クラブ休み
なの？

弟のお迎え
しろって
言われてさー



弟いるって
どんな感じ
なんだろ



面倒見
いいよね
ともは

まだちっさい
からねー
正直めんどい

ぶっちやけ
るなあ



いせ



私も弟
欲しいなあ

ただいま〜



なに…っ
何が起き
っ

キラッ
クワッ

一体
何が起きたの？

ママツ！
大丈夫

おいつ
クソブス
勇者

ホ
コッ





ぶっ殺しに
きてやったぞ



すごいだろっ

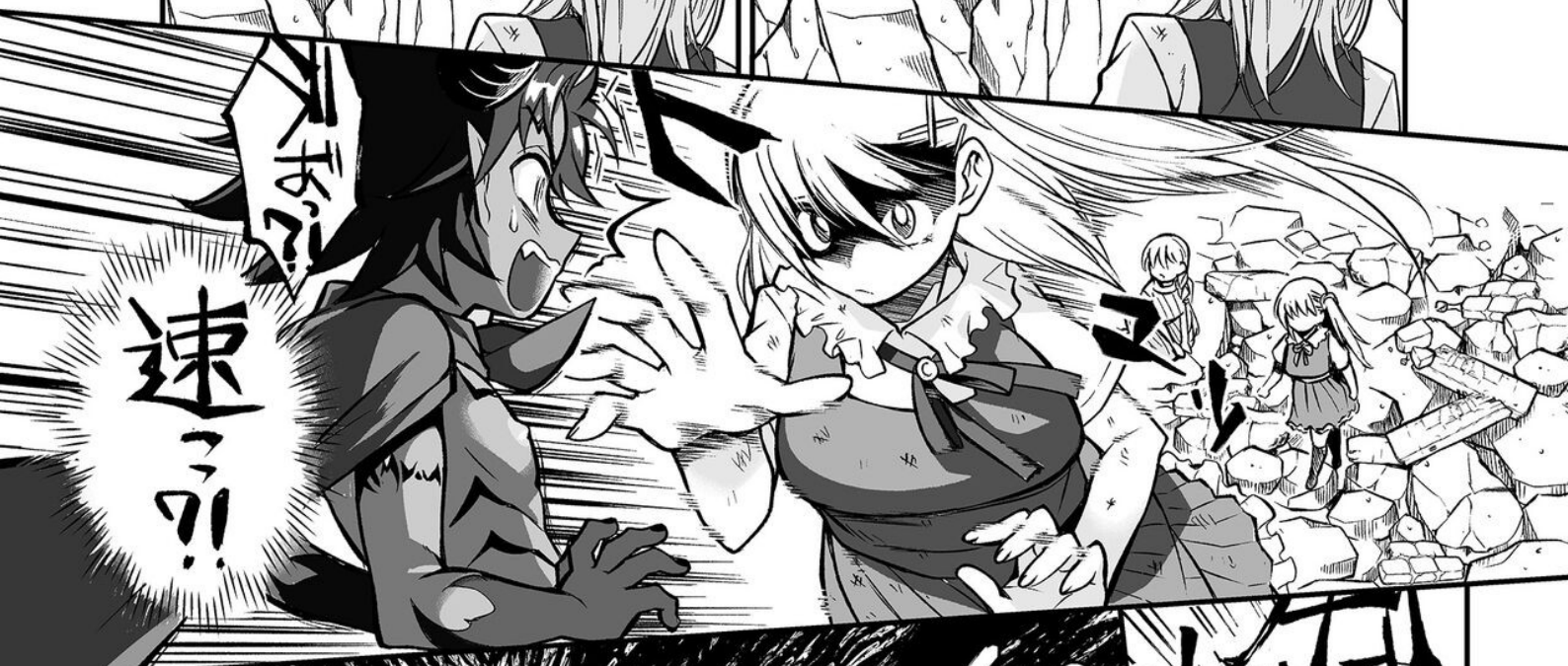
へえ
そっかあ
すごいねえ
一瞬で私の家をお
こんな風に



コレ：
キミが
やったの？

クソブス？

そうだ！
死ななかつたのは
褒めてやるぜ！



速マッ!!



おめえな!!

クソッ





調子に
乗るなっ!!



おまっ
オレさまに
こんなことしてっ
タダで済むとっ



うるさい!!



フッ……



私の家どうして
くれんのよっ!!

あやあや
あやあや

ゆうかちゃん
落ち着いて



やめっ…
いえっ…
家戻せば
いいんだろっ?!

え?
戻せるの?!

ちゃんとして
やらないと
さっきの10倍
叩くからねっ

絶対に
コロす



え?
戻せるの?!



出てこい
お前たち



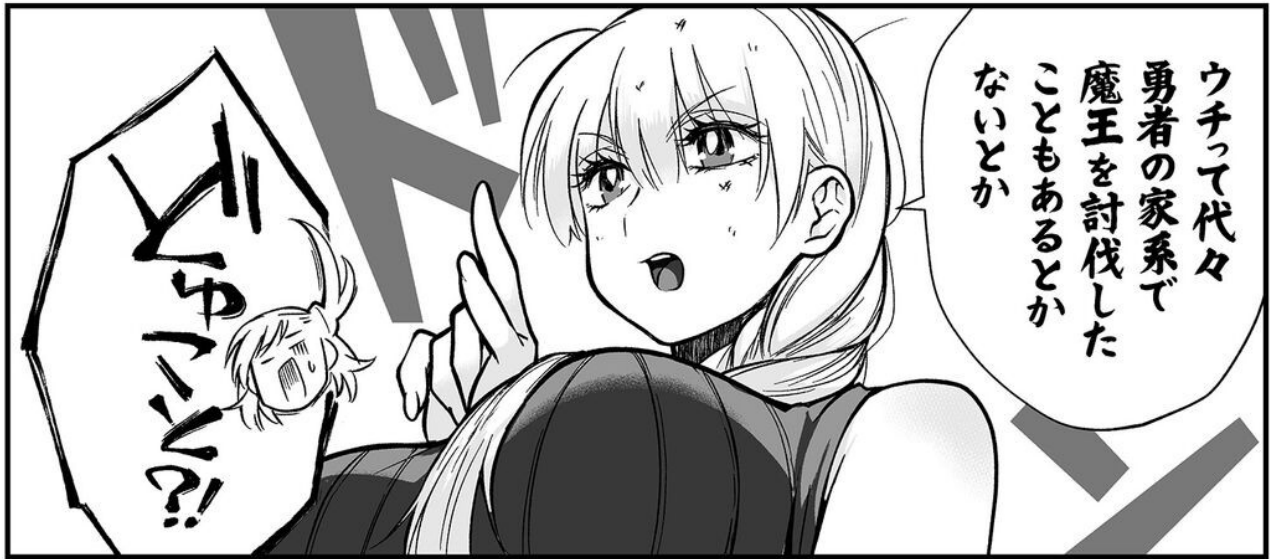
なにが
しょうぼいって?!

魔王城を修復
するヤツらだ
こんなシヨボイ
家なんて
すぐ直せるぜ



ほらよ
元通りに
してやったぞ

どごがっ?!





勇者の
しやれこうべで
祝杯を挙げる

そうして
魔王の威厳を
示すんだ

どっか別の
魔王に感化
されてない？



さっきから
人にケチばっか
つけんなっ!!
勇者のクセに!!

人じゃなくて
魔王でしょ

ごめんね
うちの勇者
煽りが上手で

それって
褒めてる？



やめい



モラ一度燃ヤラ





あつたりまえだろ
魔王がうすぎたない
なんてカッコ
つかねえだろが

あれ?
思ったより
思ったより
汚くない...?

ちゃんと
スライムに汚れを
食わせてるぜ

スラ...?



いやだ

なにワガママ
言ってるのっ
早くして

魔王に
気安く
触んなっ

いましがた
ふつーに
洗われてた
でしょうがっ



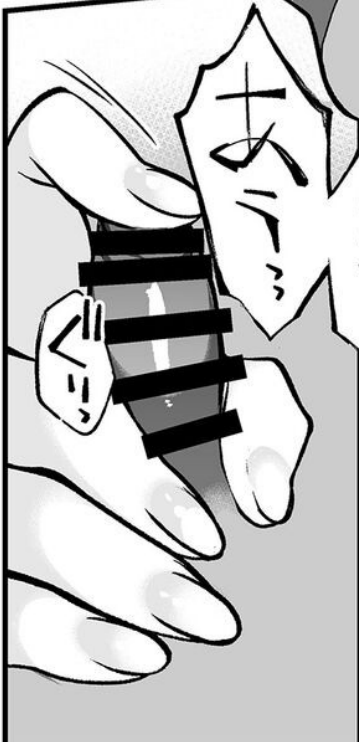
はい、前も
洗うから
こっち向いて

おし



大事な
ところですよ？
念入りに
洗わないと

ばっか
やめろ
さわんなっ…



おい！
はなせっ



トの
おちんちんと
変わらないんだ





これも人間と変わらないんだ



ちよっ…
大丈夫?!
のぼせた?!

魔王でしょ
しっかり!!



アッ アッ

アッ

アッ

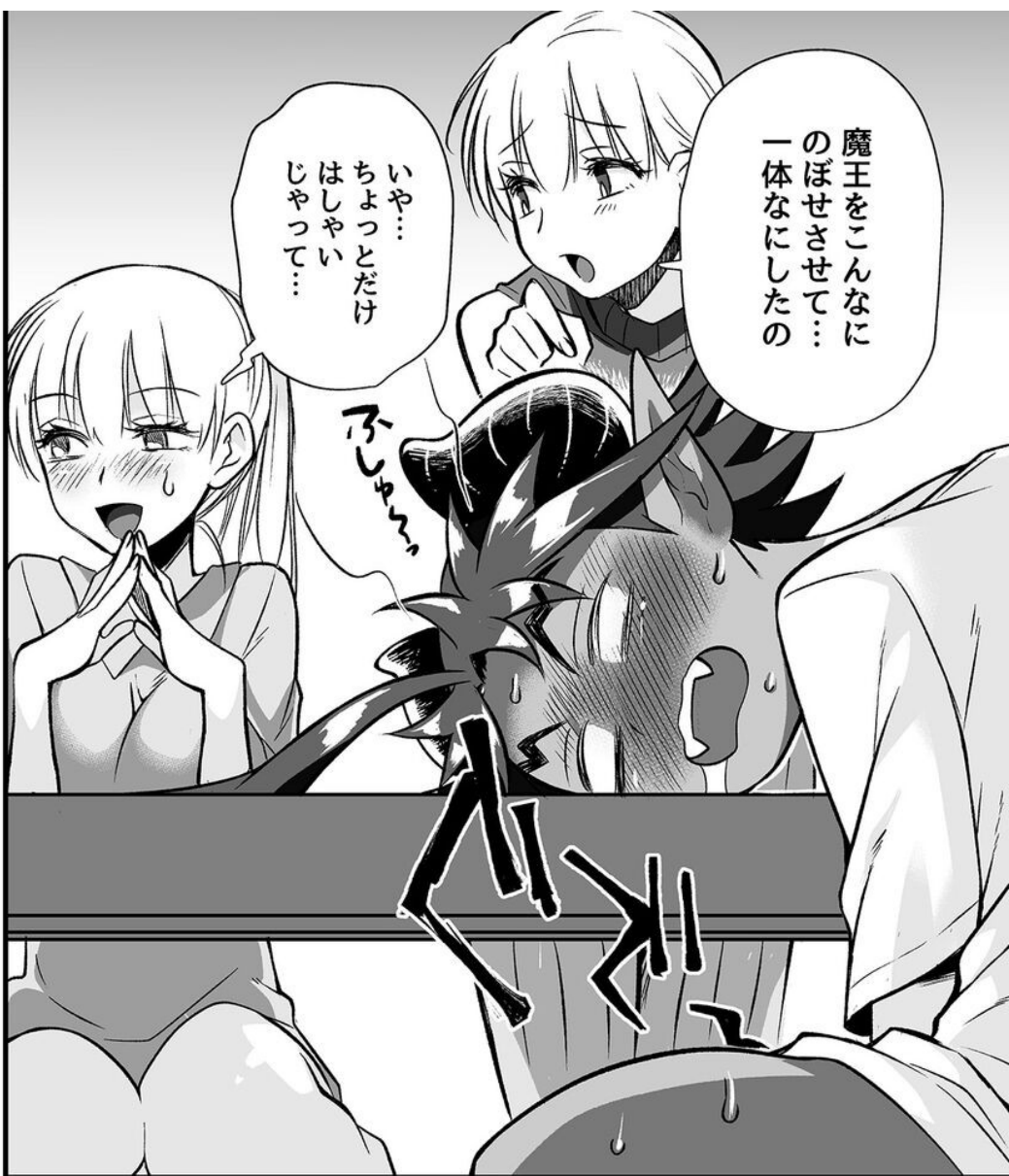
アッ

アッ



まあ
これでも飲んで
身体冷やして
ちょうだい

甘くて
おいしい
わよ〜?



いや…
ちよつとだけ
はしやい
じやって…

魔王をこんな
のぼせさせて…
一体なにしたの

ふしやん

ぐんぐん



ねえ魔王くん
泊まるどころ
ないんだったら
うちにどお?

ちよっ
ママ?!



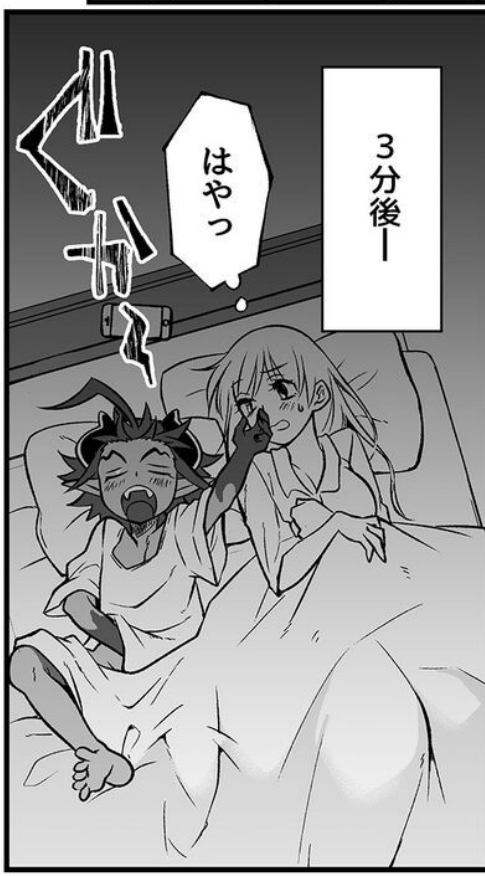
うまいっ!!

よかったあ
餌付け…?

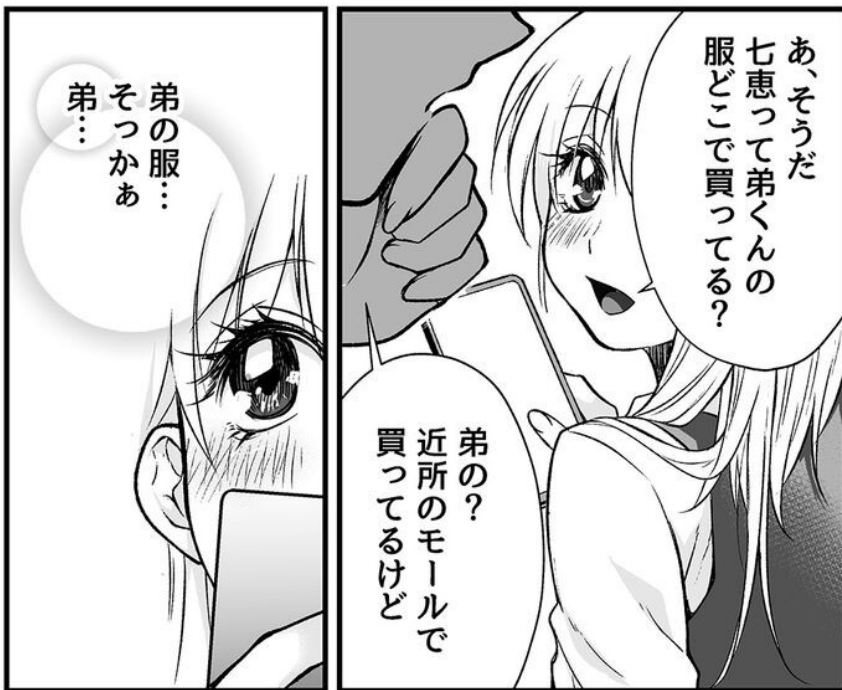
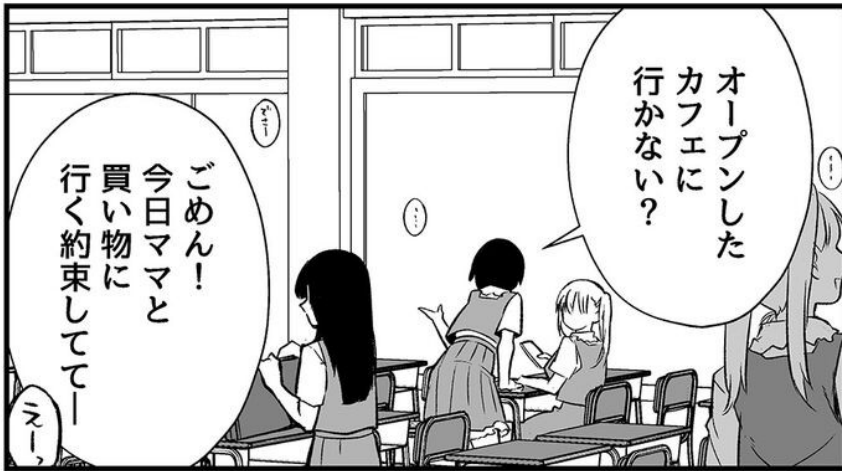
ふっは

あ〜











来るの
早かったわね

えへっ
ダツシユで
来ちゃった

こんなに
大量の人間が…
どこに隠れて
やがったんだ?!
まさか魔王軍と
戦うために今ま
身を隠してき

違うから
いつもこれ位
人いるから



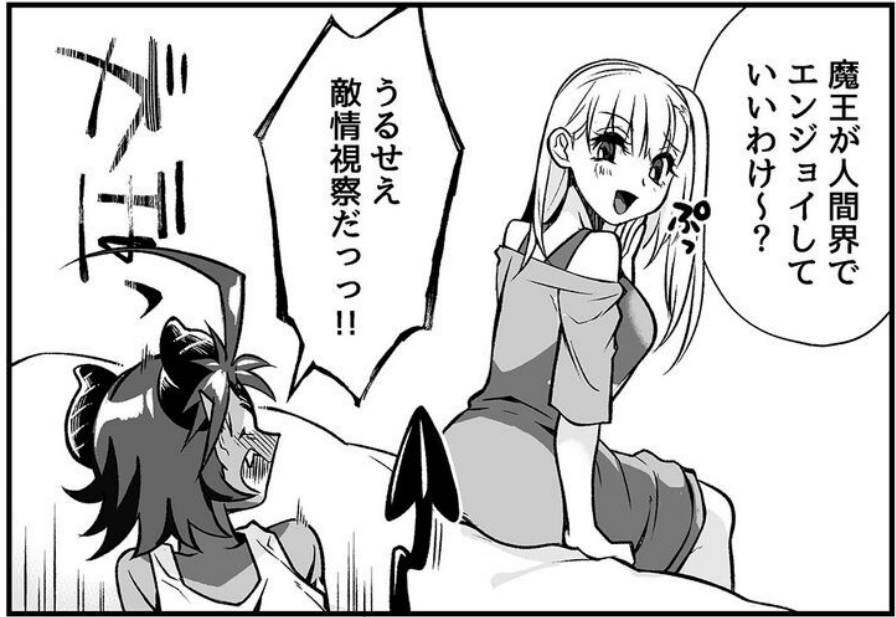
疲れた…

はしやぎすぎ
だからでしょ

ズルッ



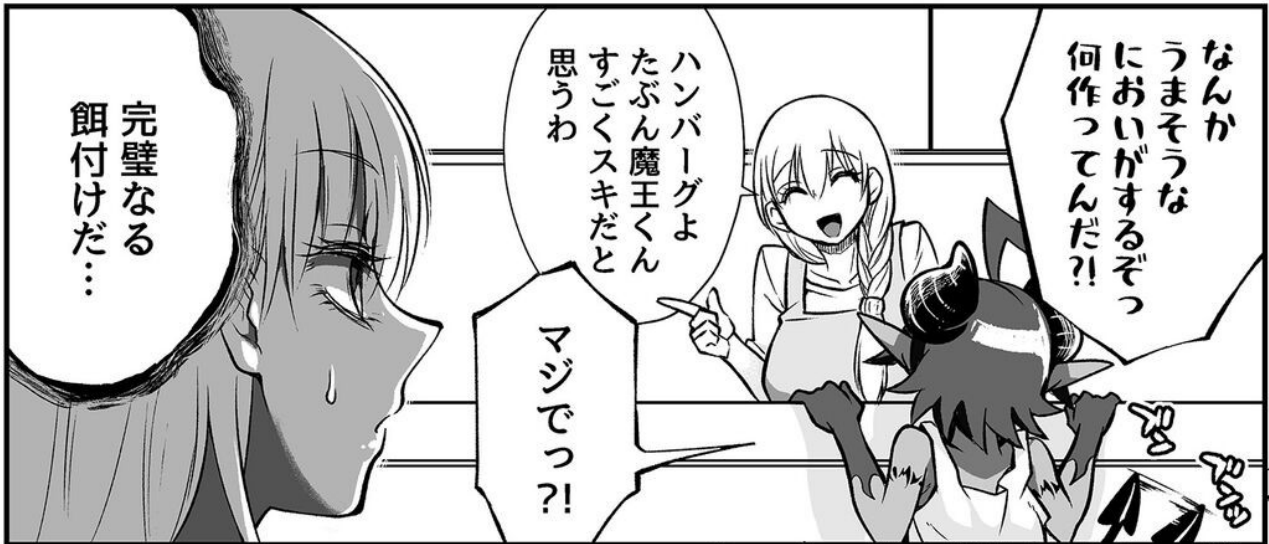
ん??
んんん



魔王が人間界で
エンジヨイして
いいわけ??

うるせえ
敵情視察だつっ!!

グハッ



なんか
うまそうな
においがするぞっ
何作ってんだ?!

ハンバーグよ
たぶん魔王くん
すぐスキだと
思うわ

マジでっ?!

完璧なる
餌付けだ…



ねえ魔王くん
ホントに私を
殺しにきたの?

ズズー

うるせえっ
ちよつと強い
くらいで調子に
乗んなよっ?!



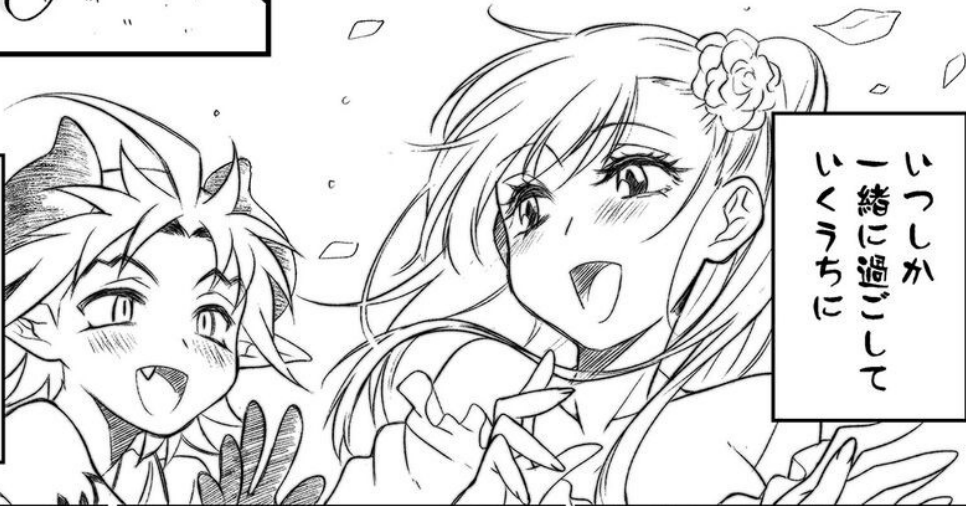
グハッ
まじっ!!



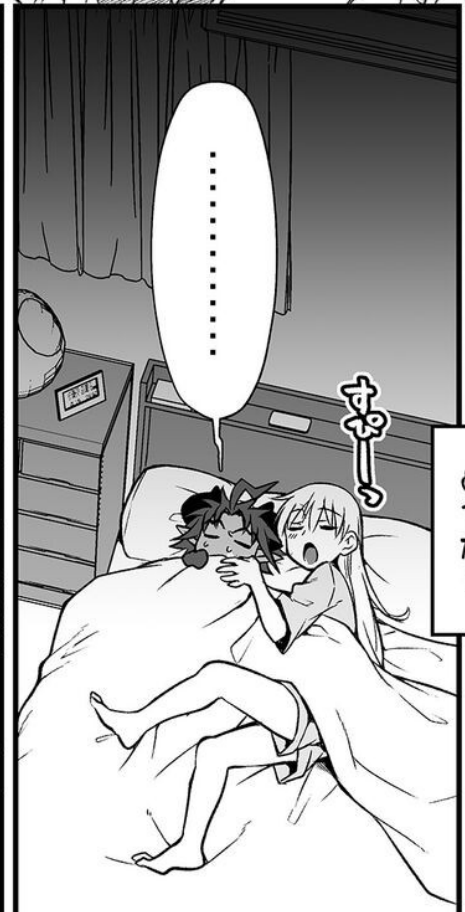


こうして
魔王との生活が
始まった勇者
でしたが

親愛に近い
感情が互いに
并生えてきて—



いつしか
一緒に過ごす
いくうちに



魔王と勇者は
ずっと仲良く
暮らして
いきましたとさ

おやすみ
なさい

めでたし
めでたし

なんでオレは
勇者と仲良く
寝てんだ?!
てか仲良く
暮らしてると?!

なぜなぜ
どうしてー?!

勇者のくせに
魔王の隣でぐーすか
寝てんじゃねえ!



オレと同じ
淫紋を
つけてやるっ

光栄に思えっ!

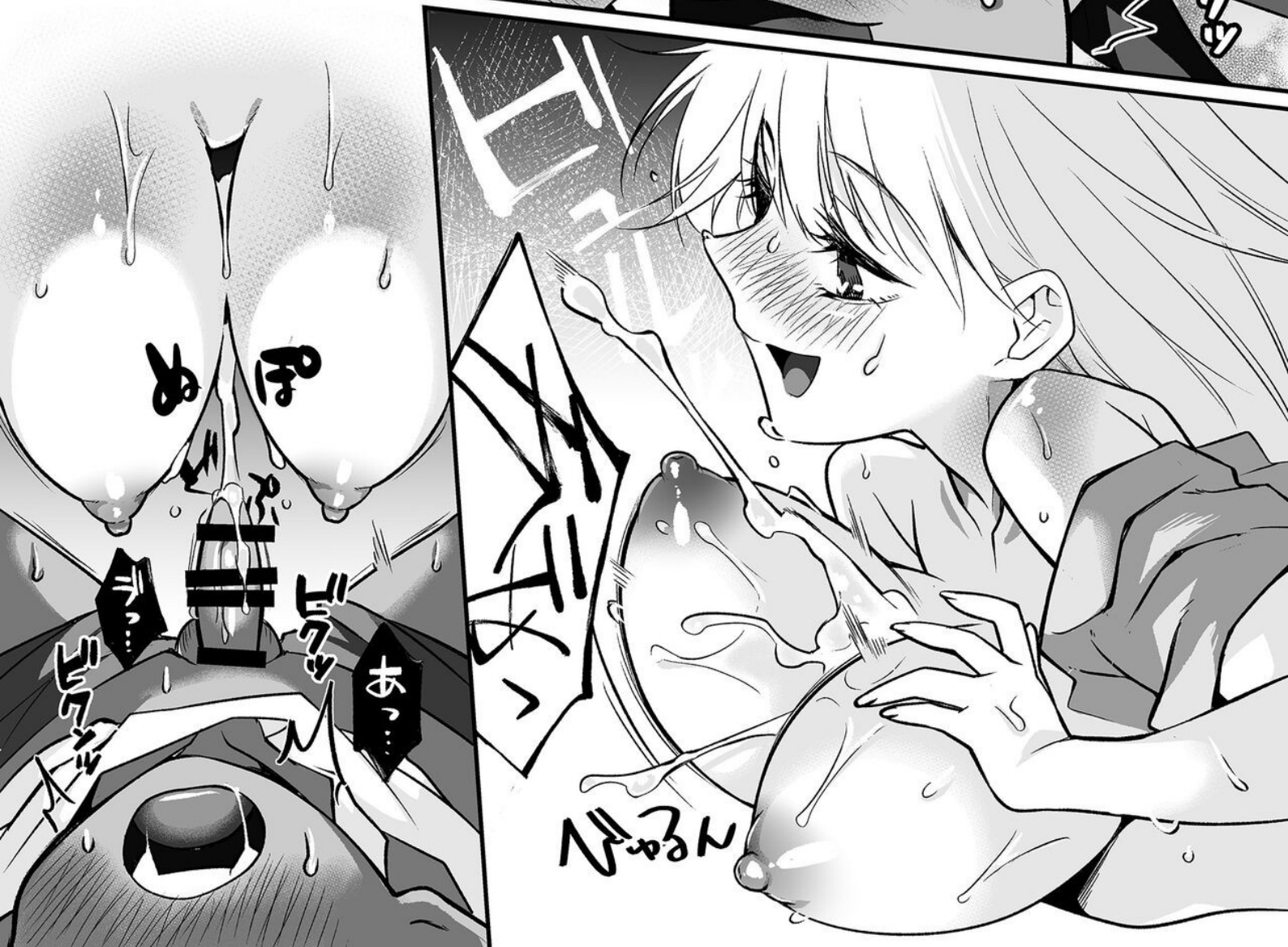












まだ元気だね
さすが魔王

ばっ
触んなっ…

私のことも
キモチよくして
もらわないと

対等じゃ
ないでしょっ

はっ

ゴキッ

ゴキッ

きゅん

ゴキッ

ゴキッ





ちんちん
はいって...

あっ
なんだ
その穴っ

おめい
は
おめい
は

アッ
アッ

ゴッ
ゴッ

アッ
アッ
アッ



まだまだ
イけるよね？
魔王なんだし



